

施策体系別の主な新規事業

豊かな心と

人を育むまち

公共施設などに、おむつ替えや授乳できるスペースを確保し、その場所を看板などで表示する。

■保育園施設整備の補助

8953万円

■南中体育館大規模改造設計
415万円
老朽化により避難所の機能も備えた施設への大規模改造の設計を行う。

■街灯のLED化

135万円

商工会館前から浜幹線までの区間で、既設の町管理街灯をLED化する。

■父子手帳の配布

21万円

父親の子育てへの関心の向上を目指して、父子手帳を配布する。

■地域防災計画の改訂

1487万円

東日本大地震に伴う津波の状況や、中央防災会議の防災基本計画の見直しを受け、現行の地域防災計画の大幅な改訂を行う。

■被災者支援システム導入

199万円

災害時に、被災者の名前・住所などの基本情報に加え震災関連業務を管理し、被災者を支援するシステムを導入する。

■住宅リフォーム助成

300万円

経年劣化の激しい第一庁舎の防水と塗装工事などを行う。

人や環境にやさしく、快適なまち

■橋りょう補修

2044万円

道路橋りょう長寿命化修繕計画に基づき、本荘地区の水路の2橋を架け替える。また、本荘下橋・古宮橋の修繕設計を行う。

■土山駅南町有地活用の検討

1455万円

JR土山駅南町有地活用の検討委員会を立ち上げ、基本方針を策定する。また事前の土地調査も行う。

つながりを

大切にすま

■住民協働推進事業

40万円

町の施策で行政がすべき事業を住民活動団体などに委託することで、効率的で住民ニーズに柔軟に対応できるまちづくりを目指す。

健全な行政経営による持続可能なまち

■庁舎整備事業

1億2113万円

経年劣化の激しい第一庁舎の防水と塗装工事などを行う。

予算特別委員会

質疑

予算特別委員会（議員13人で構成）は、3月14日から21日までの土日・祝日を除く5日間にわたり、本会議から付託された予算議案7件、予算関連議案1件の計8件を審査しました。ここでは、質疑と答弁の一部を要約して、その内容をお伝えします。

ふれあいの家の今後は

Q ふれあいの家については、存続の検討の必要性が監査報告で指摘されている。いづろ検討するのか。

A 住民の福祉の向上を図る施設であり、5年の指定契約である。投資効果などを見ながら方向性を出していく。

自転車駐車場の雨天対策は

Q 土山駅西側町立自転車駐車場では雨天時、サドルがぬれる。簡単な方法で対応できないか。

A 屋根改修は約1000万円かかる。ビニールを掛けるなど簡便な雨対策を検討したい。

地域連携交流施設は

Q 地域連携交流施設について、使用許可を得ている場所と理由は。また、なぜ県の施設に補助金を出すのか。

A 運営団体が使用許可を得ているのは、約29㎡のみ。毎年、校長に活動内容を提出している。人件費のみの補助である。



▲JR土山駅南自転車駐車場

補助金の繰り越しは妥当か

Q まちの先覚者顕彰事業に毎年補助金が出ているが、多額の繰り越しを続けているのは問題ではないのか。

A 自然災害や事故による急な出費に備えたつもりだったが、今後は基金などの適正な科目を定めて運用していきたい。

委員報酬の運用問題は

Q 社会教育推進委員には、2時間程度の研修参加に8500円の報酬が出ているが、これは妥当な金額か。

A 条例の規定により支出しているが、今後、検討の余地はあるものと思われる。

喜瀬川の桜

